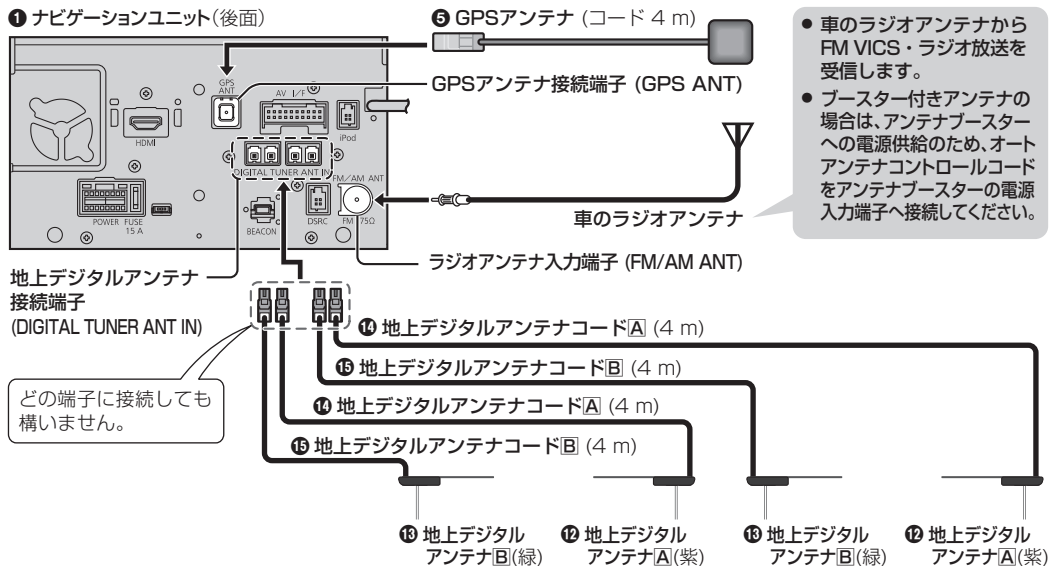


配線のしかた(続き)

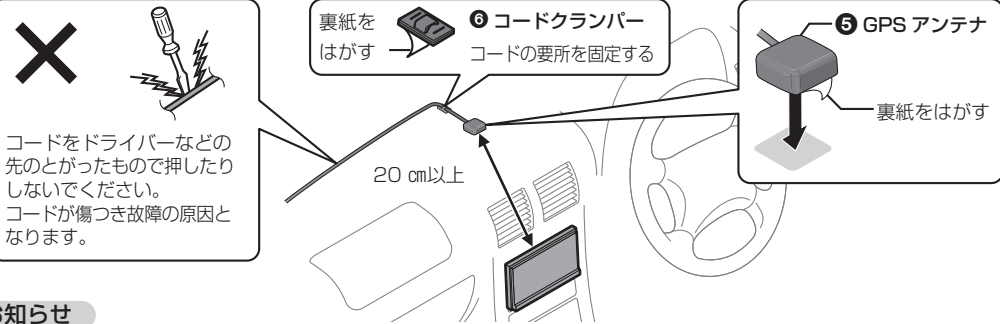
アンテナコードの配線



GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、VICSビーコンユニット(別売)や他のアンテナから、15 cm以上離して取り付けてください。また、それぞれのコードは別々に(引き回しを左右別方向にするなど)配線してください。
- 必ず車室内(ダッシュボード上のガラス付近)に取り付けてください。防水構造ではありませんので、車外には取り付けしないでください。



お知らせ

- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。(→取扱説明書)
- 受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを移動して、受信状態の良い場所に設置しなおしてください。(P.20)

地上デジタルアンテナの取り付けかた

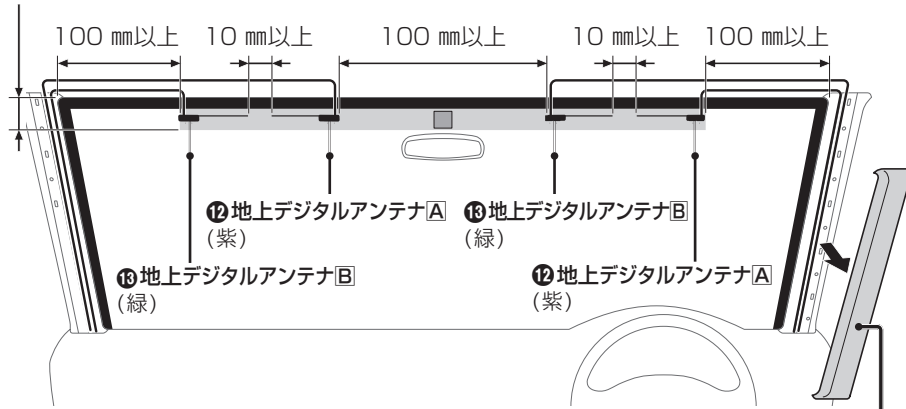
アンテナの貼り付け位置について

- 性能を十分に発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
 - 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - フロントガラスに車載カメラ装置や電波を通さない熱反射ガラスなどが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。地上デジタルアンテナの感度が低下する場合には、ルームミラーに近い地上デジタルアンテナ2本を、リヤクォーターガラスに設置しますので、車両により、別売の地上デジタルアンテナコード5.5 m (CA-LDT550D)が必要となります。
- 国土交通省の定める保安基準^{*1}に適合させるため、アンテナの給電部およびコードの端子は、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に貼り付けてください。

※1 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

取付許容範囲: ■部

アンテナの給電部をフロントガラスの上端から25 mm以内に貼り付けてください。セラミックライン(黒い線)の上にも貼り付けられます。



ピラーのカバーを取り外す(配線後、もとに戻してください)

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 車両装備品の動作を妨げないように、取り付けや配線をしてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

- ×
- 下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
 - アンテナの性能を十分に発揮できません。

アンテナのA/Bを逆に貼らない
点検シールなどに重ねて貼らない
重なった位置に貼らない
アンテナの給電部およびコードの端子は取付許容範囲外に貼らない

